

① 記事の右側の縦長の□には主見出しが入ります。本文を読んで10文字以内で見出しを考え、□の中に書いてみましょう。

② 「日本夜景遺産」にはどんな部門がありますか。文中から抜き出しましょう。

(自然)

(施設型)

(歴史的文化)

(ライトアップ)

③ 遺産登録を通じた、三光支所の中原さんの願いを考え、まとめましょう。

地元の人に愛されている

八面山の夜景も、これから

は楽しんでほしい。

中津市のシンボル 県内5カ所目



④八面山から約10°離れた中津市中心部の夜景（市三光支所提供）⑤秋にはコスモス畑が麓に広がる八面山＝三光コスモス園



八面山 夜景遺産に

中津市のシンボル八面山から見える夜景が本年度「観光資源」としての夜景を発掘する「日本夜景遺産」に登録された。大都市の有名施設や国内有数の観光地と並んでの選出で、県内では別府市内の4カ所に続く認定。

観光資源、新たな魅力

「夜景観光コンベンション・ビューロー」（東京都）が主催。本年度が12回目です。自然▽施設型▽歴史的文化的▽ライトアップの4部門で選ばれる。

本年度の自然部門に八面山と日本平（静岡市）を選出。他部門では東京スカイツリー（東京都）やあべのハルカス（大阪市）、丸の内イルミネーション（東京都）など大都市の有名施設も認定された。

県内ではこれまで別府市の十文字原展望台、湯けむり展望台、別府湾サーブिसエリア、グローバルタワーが登録されている。

三光支所の中原圭介主幹（48）は「同時に登録されたのが有名な場所ばかりで驚いている。ハイキングやドライブなどで地元の人々に愛されている八面山だが、これからは夜景も楽しんでほしい」と話している。

（竹内達也）